



～「固定観念をぶっ壊す」広報力を学ぶために～ 近畿大学広報部に職員を派遣します

生駒市は、包括連携協定を締結している学校法人 近畿大学に、戦略的な広報を学ぶことを目的に職員を派遣します。大学への職員派遣は生駒市初で、近畿大学にとっても自治体職員の受け入れは初めての取り組みです。

近畿大学は、「固定観念をぶっ壊す」をミッションに掲げ、受験生が全国的に減少する中、圧倒的なメディア露出とマーケティングに基づく「エコ出願」によって、志願者数を全国 1 位に伸ばしました。認知度の向上だけでなく、世界の大学ランキングでは西日本の私大で唯一 800 位以内にランキングするなど、入れ替えが困難とされていた大学のブランド力を広報の力で変えている大学です。

本市は、市民及びステークホルダーの参画意欲と推奨意欲を向上させながら都市ブランドの構築を目指すシティプロモーションを推進しています。今回の派遣では、地方創生に欠かせない「マーケティングに基づく戦略的な広報」を学ぶ予定です。

■ 派遣職員

大垣 弥生（おおがき やよい） いこまの魅力創造課 魅力創造係長

■ 派遣期間

11月21日～12月20日（1か月間）

この件に関する報道関係からのお問い合わせ

生駒市人事課（課長 田中） ☎0743-74-1111(内線 241)